

温室効果ガス（二酸化炭素など）について

地球の表面は太陽のエネルギーで温められています。温められた地球から放出された熱の多くは宇宙に出ていきますが、一部は大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスに吸収されて、地球に残ります。大気中の温室効果ガスが適切な量なら、地球全体の気温はほどよく保たれますが、温室効果ガスが増えすぎると、地球に余分な熱が残り、地球全体の気温が上がってしまいます。これを地球温暖化といいます。

この地球温暖化が進行してしまうと、南極の氷や大きな山にある雪が溶けてしまうため、海面が上昇したり、気温が上昇するため、熱帯地域の伝染病がまん延したり、干ばつや大規模な台風などの異常気象が発生してしまいます。

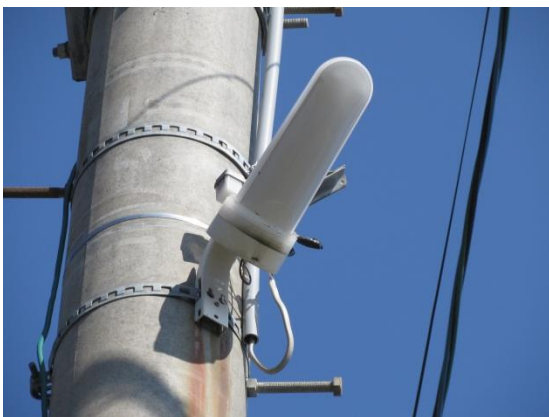
そのため、世界全体で、この温室効果ガスの削減に向けて取り組みを行っており、本市では、下記のような取組を行っています。

※図書館や学校に太陽光発電システムを設置



大竹小学校

※市道や地下道等の市営外灯をLEDに変更



市営外灯



地下道